

令和 7 年度 社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け国内研修

10 月開催（障害者支援）実施要綱

1 目 的

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所で働く中堅職員に対し専門知識、支援技術の習得及び参加者相互の交流の機会を提供し、職員の見識を深めることを目的とする。

2 主 催 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター

〔公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団助成事業〕

3 後 援 厚生労働省

4 実施期間 令和 7 年 10 月 20 日（月）～10 月 23 日（木）までの 4 日間

5 開催方式 オンラインでの実施（Zoom）

6 受講者の条件

公益的な活動を実施し地域貢献に取り組んでいる、又は公益的な活動を計画し地域貢献に取り組むことを予定している社会福祉法人等が経営する自立支援給付指定施設・事業所等で働く生活支援員、就労支援員、サービス管理責任者、サービス提供責任者、相談支援専門員及び児童発達支援管理責任者等で、次の（１）から（３）の全てを満たす者とする。

- （１）自立支援給付指定施設・事業所等における生活支援等業務経験が通算して 3 年以上で、かつ、本研修受講後も引き続き当該施設・事業所に勤務する意志を有する者
- （２）参加目的及び獲得目標が明確である者
- （３）Zoom ミーティングを利用したオンラインで研修が受けられる者

7 受講定員 60 人

8 研修の応募について

都道府県・政令指定都市・中核市等の推薦が必要である。「社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け国内研修 令和 7 年度 10 月開催（障害者支援）受講者推薦書」により、各自治体経由で応募すること。

9 受講者の選考

受講希望者が定員を超えた場合は、受講者の条件を満たす者のうち、次の選考基準により受講者を選考する。

【選考基準】

- （１）都道府県・政令指定都市・中核市等の推薦者のうち各 1 名
（ただし、推薦のあった都道府県・政令指定都市・中核市等の優先順位 1 位の推薦者の合計が定員を超える場合は、（３）以降の基準で選考する）
- （２）都道府県・政令指定都市・中核市等の推薦者のうち優先順位 2 位の者
（優先順位 2 位の推薦者の合計が定員を超える場合は、（３）以降の基準で選考します。
以下、優先順位 3 位以下の者の場合も同様に選考する）
- （３）本研修に参加履歴のない施設・事業所に勤務する者
- （４）直近 5 年間に於いて本研修への参加がない者
- （５）生活支援等業務の経験年数の長い者

1 0 研修費用
無料

1 1 研修科目及び時間（予定）

科 目	時間	科 目	時間
重症心身障害者の地域生活支援	1 時間 30 分	意思決定支援の取り組み・合理的配慮	1 時間 45 分
就労支援事業所の役割	1 時間 30 分	ライフステージを通じた支援体制作り	1 時間 45 分
サービス等利用計画と個別支援計画に基づく本人中心のソーシャルワーク実践	5 時間 15 分	行動に課題を抱えた方のアセスメントと支援の工夫	4 時間 00 分
自立支援協議会における地域体制づくりと相談支援の専門性	1 時間 30 分	特別講義 認知症施設での実体験を踏まえてー海外事情ー	1 時間 00 分
障害者福祉行政の動向	1 時間 30 分		
(注) 科目名・時間は今後変更が有り得ること。		9 科目	19 時間 45 分

(他、アイスブレイク・受講者交流等 1 時間 30 分)

(「サービス等利用計画と個別支援計画に基づく本人中心のソーシャルワーク実践」のアーカイブ動画を復習用として研修終了後に配信予定)

1 2 レポートの提出

受講者は研修終了後、当センターが指定する期日までに所定のレポートを提出するものとする。なお、提出されたレポートは報告書としてまとめ、関係機関に配付する。

1 3 その他

- ・ 研修の成果について、法人・施設（事業所）内において幅広く伝えるように努めること。
- ・ 原則、研修の全日程を受講すること。
- ・ 提出された書類は一切返却しないものとする。
- ・ オンライン研修を受講できる環境整備（受講場所やパソコンの用意、通信環境の整備）は受講者本人または受講者の所属する事業所等で準備するものとする。
- ・ 研修の内容は、録画される予定であること。なお、研修実施に関する目的で行うものであり、本目的以外で使用しないものとする。

以上

令和7年度 10月開催 社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け国内研修 日程表

10月20日 (月)				13:00	13:30	13:45	15:15	15:30	17:00
				受付	オリエンテーション	Zoom操作/アイスブレイク/受講者交流 社会福祉振興・試験センター	休憩	重症心身障害者の地域生活支援 社会福祉法人 訪問の家 理事長 名里 晴美	
						1時間30分		1時間30分	
10月21日 (火)	9:00	9:10	10:40	10:55	12:25	13:15			17:00
	受付	就労支援事業所の役割 社会福祉法人 新冠ほくと園 業務執行理事 成田 英司	休憩	サービス等利用計画と 個別支援計画に基づく本人中心の ソーシャルワーク実践 華頂短期大学 教授 武田 康晴	昼食 休憩	サービス等利用計画と個別支援計画に基づく本人中心のソーシャルワーク実践 華頂短期大学 教授 武田 康晴			
		1時間30分		1時間30分		3時間45分			
10月22日 (水)	9:00	9:10	10:40	10:55	12:25	13:15	15:00	15:15	17:00
	受付	自立支援協議会における地域体制づくりと 相談支援の専門性 社会福祉法人 唐池学園 貴志園 園長 富岡 貴生	休憩	障害者福祉行政の動向 (行政説明) 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐 照井 直樹	昼食 休憩	意思決定支援の取り組み・合理的配慮 社会福祉法人 育成会 理事 古川 敬	休憩	ライフステージを通じた支援体制作り 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 発達障害施策調整官 山根 和史	
		1時間30分		1時間30分		1時間45分		1時間45分	
10月23日 (木)	9:00	9:10		12:10	13:00	14:00	14:15	15:15	15:45
	受付	行動に課題を抱えた方のアセスメントと支援の工夫 NPO法人 たんと。 理事長 飯島 尚高		昼食 休憩	行動に課題を抱えた方の アセスメントと支援の工夫 NPO法人 たんと。 理事長 飯島 尚高	休憩	特別講義 認知症施設での実体験を踏まえて ー海外事情ー (公財) 中央競馬主社会福祉財団 海外研修参加者報告 社会福祉法人 新生寿会 グループホーム東五反田 3階ユニットリーダー 正垣 幸一郎	閉 講 式	※ 閉講式後、Zoomのチャット機能により、受講者同士がご連絡を取り合えるお時間を設ける予定です。
		3時間				1時間			

研修終了後、10月21日(火)実施の「サービス等利用計画と個別支援計画に基づく本人中心のソーシャルワーク実践」のアーカイブ動画を復習用として受講者限定で配信する予定です。

SAMPLE

※社会福祉振興・試験センターのホームページ (<https://tinyurl.com/sssc5>) に掲載の
「受講者推薦書」をダウンロードし、ご入力の上、ご提出ください。

社会福祉法人等が経営する社会福祉施設・事業所職員向け国内研修 令和7年度10月開催（障害者支援）受講者推薦書

令和7年度10月開催（障害者支援）研修の受講者として次の者を推薦します。

（「※」以外はすべて必要な項目です。入力漏れがないことをお確かめください。）

入力すると、黄色の網掛けが
外れるようになります。

1. 受講希望者

氏 名	ふりがな	ふりがな			
	(姓)	(名)			
生年月日 (西暦)	年 月 日生	年齢 (4/1時点の年齢)	歳	※ 性別 (プルダウンから任意選択)	
職 種	※ 役職名				
支援等業務経験年数	年	現在の施設での経験年数	年		

○ 経験年数は4/1を基準としてください。

※ 保有する資格 (該当する資格はプルダウンから「○」を選択)	介護福祉士	社会福祉士	精神保健福祉士
	相談支援専門員		

2. 受講希望者の所属施設・事業所

法人名	ふりがな	法人格	
施設・事業所名	ふりがな	施設種別	
		障害福祉事業者指定 (有・無) プルダウンから選択	
推薦者氏名	ふりがな	推薦者役職	
所在地	〒	従業員数	名
施設担当者 連 絡 先	担当者名	電話番号	
		メールアドレス	

地域における公益的な取組の具体的な活動内容（ご都合により現在活動を行っていない場合、以前の活動内容または今後予定している活動内容を入力すること）

--

SAMPLE

※社会福祉振興・試験センターのホームページ（<https://tinyurl.com/sssc5>）に掲載の「受講者推薦書」をダウンロードし、ご入力の上、ご提出ください。

3. 参加目的及び獲得目標 (注)

参加目的は、所属施設・事業所の問題・課題の解消または地域の問題・課題への貢献等について入力すること。
獲得目標は、参加目的と関連性の高い研修科目に基づいた具体的な問題・課題の解消等の目標について入力すること。

参加目的

獲得目標

○推薦書に入力された個人情報は、公益財団法人社会福祉振興・試験センターが行う事業に使用するものであり、第三者に提供することはありません。

(試験センター入力欄)

優先順位

推薦団体		推薦団体No.		確認欄		受講者No.	
------	--	---------	--	-----	--	--------	--

オンライン研修受講にあたっての注意事項

1. 受講者に必要な利用設備環境

オンライン研修受講にあたっては、下記の環境の用意が必要です。

●使用機材等

① 機材:パソコン

カメラ機能・マイク機能・通信機能があるもの

(映像/音声が見聴に送受信できるもの)

※ タブレット及びスマートフォンでのご参加は推奨いたしません。

やむを得ず使用する場合はグループワークを実施するため大きい画面のものを推奨します。

システム要件は Zoom のホームページをご確認ください。(URL:Zoom.com/)

② アプリケーション:Zoom ミーティング/ Zoom ウェビナー

事前にアプリケーションをダウンロードの上、接続確認を行ってください。

※ Zoom のホームページで事前接続確認ができます。

2. 注意事項

- ① 周囲の音を拾わないようできるだけ静かな環境でご参加ください。
- ② インターネット回線の通信費については、ご参加者様の負担となります。
- ③ ご自身のパソコン等機器やインターネット回線の不具合等により、ご参加いただけなかった場合は、責任を負いかねます。事前に受講環境をご確認の上、ご参加ください。
- ④ 研修内容の撮影・録画・録音・画面のスクリーンショット、および研修資料の二次利用は固くお断りいたします。
- ⑤ 研修の内容を当センターで録画をさせていただく予定です。録画内容は、研修実施に関する目的以外での利用はいたしません。あらかじめご了承ください。